

令和6年度北海道聴覚障害教育研究会 冬季研修会 開催要項

- 1 目 的 社会の変化や聴覚障がい教育に対するニーズの多様化を踏まえ、聴覚障がい教育の専門性の向上を図る。
- 2 主 催 北海道聴覚障害教育研究会
- 3 日 時 令和7年1月9日（木） 13：00～15：30（予定）
- 4 実施方法 札幌聾学校から配信（オンライン）で行う。
- 5 後 援 北海道教育委員会、北海道聾学校長会、北海道聾学校教頭会
- 6 対 象 北海道聴覚障害教育研究会会員、その他会の趣旨に賛同する教職員など

7 日 程

13:00 13:30 13:40

15:10 15:20 15:30

受 付	開 会 式	①講 演（90分）	質 疑	閉 会 式
--------	-------------	-----------	--------	-------------

8 研修内容及び講師等

(1)演 題

「聴覚障がい教育における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」

(2)講 師

山形県立山形聾学校長 庄 司 美千代 様

（元文部科学省初等中等教育局特別支援教育課調査官）

(3)研修内容・趣旨

第20次研は、研究主題を「聴覚障がいのある多様な幼児児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する指導法の研究」とし、今年は2年次目を迎えます。在籍児の減少が続き、「一人学級」や「欠学年」が生じることで、学習集団の確保が難しい状況が多く見られる本道の聾学校において、「主体的・対話的で深い学び」を毎日の授業にどのように位置付けるのかを考えることは大変重要なことです。

昨年度は、國學院大學教授 田村先生をお招きし、令和の日本型学校教育の構築を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、考え方や方策について御講演いただきました。講演では、「主体的・対話的で深い学び」の基本的な考え方や「深い学び」の子どもの姿、深い学びを実現する授業の在り方などについて、また、地域の小中学校における主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた指導実践の様子や児童生徒の学びに対する声などについて学ぶことができ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた基本的な部分について理解を深めることができました。

これを踏まえ今年度は、より聴覚障がい教育に特化した内容とするべく、これまで独立行政法人国立特別支援教育総合研究所主任研究員や文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官を務められ、聴覚障がい教育の現状や課題等について精通されている、山形県立山形聾学校庄司美千代校長をお招きし、聴覚障がい教育における「主体的・対話的で深い学び」の在り方やその実現に向けた具体的な取り組みや、全国の聴覚障がい特別支援学校におけ

る優れた指導実践等についてお話いただくことで、聴覚障がい教育への理解をさらに深めることができればと思います。

9 参 加 費 会員〔無料〕 非会員〔1500円〕

10 申 込 下記 URL または右記 QR コードから、所属名、職名、氏名、メールアドレス等を入力し、お申し込みください。
URL : <https://forms.gle/i1JVv1eMHSDWFFzP8>
また、北聴研非会員の方は、以下の口座へ参加費の振り込みをお願いいたします。



【参加費振込先】

空知信用金庫（金融機関コード 1004）
札幌北支店 口座番号 0358675
北海道聴覚障害教育研究会

※備考欄等を利用して、誰が入金したか分かるようにしてください。

申込み締切日：令和6年 12月 16日（月）

なお、申込み後にキャンセルされた場合、参加費の返金はできませんので御了承ください。申込み等に関して御不明な点がございましたら、担当まで御連絡ください。

・北聴研事務局（担当 桑谷、島田）

TEL 011-716-2979 FAX 011-758-7617

E-mail hokuchoken.sapporo@hokkaido-c.ed.jp

11 その他

- ・当日使用するミーティングID等については、後日、申込み時に入力いただいたメールアドレスあてに送付させていただきます。
- ・情報保障は、手話通訳及びUDトーク（音声認識文字化ソフト）を用いて行います。（誤変換があることを、御了承ください。）

◇ 講師紹介 ◇

庄 司 美千代（しょうじ みちよ）
山形県立山形聾学校長（令和4年4月～）



小学校教諭、聾学校教諭としての勤務を経て、平成20年4月より山形県教育庁義務教育課特別支援教育室指導主事、その後、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所主任研究員、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官を歴任され、令和4年4月から山形県立山形聾学校長に着任されています。

山形聾学校では、「豊かな言葉と自立の力を育む」という学校教育目標のもと、「よく見て・聞いて・考え、しっかり伝え・行動する人」をめざす子どもの姿として掲げ、子どもたちのもてる力を最大限に伸ばすべく、校長としてのリーダーシップを発揮しながら安全・安心な学校づくりや学習活動の工夫などに取り組んでおられます。